

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	幼稚園施設・設備維持事業	担当課・係名	子育て支援課 保育園・幼稚園係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	23
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	安全で良好な教育環境の提供				
対象 (誰を・何を)	幼稚園、園児				
内容	快適な幼稚園生活・教育が営まれるよう教育環境に配慮し、幼稚園施設・設備の維持管理上必要な保守・点検委託、修繕や物品の借上げを行う。				
根拠法令・条例等	大磯町立幼稚園の管理運営に関する規則				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	10,746	7,978	7,223
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	929	630	665
	一般財源	千円	9,817	7,348	6,558
	職員人数 (概算職員数)	人			0.43
	人件費計 (b)	千円			2,635
総事業費 (a)+(b)	千円	10,746	7,978	9,858	
事業費内訳	需用費4,039千円、役務費676千円、委託料2,293千円、使用料及び賃借料205千円、原材料費10千円				
H 25 年度					

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 幼稚園数	園	4	3	3
	② 園児数	人	430	357	373
活動指標 (活動量)	① 幼稚園数	園	4	3	3
	② 園児数	人	430	357	373
成果指標 (達成度等)	① 幼稚園1園あたりの事業費	円	2,686,500	2,659,333	2,407,666
	② 園児1人あたりの事業費	円	24,991	22,347	19,365

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	施設管理者として必要な事業であり妥当。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	快適な幼稚園生活を提供するため、幼稚園施設・設備の適切な維持管理を行っている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由	既存施設・設備の再利用や、他の施設との一括による入札を行い、経費の節減に努めている。
	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	平成24年度に1園を民営化し、コストを削減した。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 現状の方法は妥当であり、削減された経費の中で、運営努力をしている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

<b>① 改革・改善への取り組み</b> 現在の財政状況を考慮すると、施設・設備の大幅な改修は困難なため、既存施設・設備の再利用や有効利用等に努める。
<b>② 平成26年度に着手する事項</b> 引き続き効率の良い経費の執行、節減に努める。
<b>③ その他（課題、調整事項等）</b> 効率の良い執行のため、他の施設との一括による入札を行う。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

施設の修繕計画を立てるとともに、子ども・子育て支援新制度施行に向けて、今後の施設維持等について検討を行う。
---